

平成 27 年度高等学校学習指導要領実施状況調査の実施について

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、高等学校学習指導要領に基づく生徒の学習の実現状況を把握、分析するため、このたび、下記のとおり学習指導要領実施状況調査を実施します。

1. 調査の目的

高等学校学習指導要領（平成 21 年告示）における各科目の目標や内容に照らした学習の実現状況を把握・分析することにより、今後の教育課程の基準の検証や指導方法等の改善に資する。

2. 調査対象科目及び内容等

(1) 調査内容

各科目で下記の①～③の視点に基づく検証事項を踏まえた調査問題を出題する。

- ① 今回の改訂の基本的な考え方に関する事項、各教科等の主な改善事項の実現状況、課題等（例：思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実等）
- ② 今回の改訂で新設、学校種を越えて移行した事項の実現状況、課題等
- ③ 従来より課題と指摘される事項、以前の調査で通過率の低い事項、経年比較の観点から把握・分析が必要な事項の実現状況、課題等

(2) 調査対象科目、学年

国語総合、世界史 B、日本史 B、地理 A、地理 B、現代社会、倫理、政治・経済、数学 I、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、保健、コミュニケーション英語 I・・・第 3 学年
体育、音楽 I、美術 I、工芸 I、書道 I、家庭基礎、社会と情報・・・第 2 学年

(3) 調査実施時期

平成 27 年 11 月 4 日（水）～11 月 17 日（火）

3. 調査の形式等

- 調査対象生徒数は、各科目 1 冊子当たり 4,800 人程度。総生徒数は 110,000 人程度、調査対象学校数は 1,200 校程度（全学校の 25%程度）。
- 本研究所において、全国の国公立立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）の大学科を単位に、調査実施学校／大学科を無作為に抽出。抽出された大学科の第 3 学年の全学級の中から、さらに 2 学級を抽出するとともに、第 3 学年が抽出された調査実施学校／大学科の一部から第 2 学年も 1 学級を抽出。工芸 I のみ、別途抽出（開講されている学校が少ないため）。
なお、調査実施学校名は非公表とする。
- 研究所が抽出された学級ごとに調査実施科目を第 3 学年は 3 科目、第 2 学年は 2～3 科目指定。該当学級に在籍する生徒のうち、指定された科目を履修した（あるいは履修中の）生徒が調査対象。
- 調査は、生徒へのペーパーテスト形式による調査に加えて、学校長、教員、生徒を対象とした質問紙調査を実施。体育については実技調査も実施。
- 調査結果については、分析終了後、公表を行う予定。

(お問合せ先)

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発部長 佐藤 弘毅 (03-6733-6820)

研究開発部副部長 松本 吉正 (03-6733-6832)

〔広報担当〕企画室 企画・広報係

電話：03-6733-6925 (直通)